

英語のしくみ PROGRAM 7

権かめよう

仮定法過去

現在の事実と違うことを仮定する場合は、(仮+主語+助詞)の過去形, 主語+would/could+動詞の原形 の形を使う。

○ (仮+主語+be動詞) の場合 主語の人称, 単複が複数か単数かわからず, wereを使う。(ただし, 話し手は, Iや三人称単数でwasを使うこともある。)

If I were free, I could watch my favorite DVDs. (もし私がひまだったら, お気に入りのDVDを見るのができるのに。)

現在の事実, 私はひまではないので, DVDを見ることができない。

○ (仮+主語+一般動詞) の場合 仮定法過去文では, 節の中の動詞を過去形にする。

If I had a lot of money, I would buy a new car. (もしお金がたくさんあれば, 新しい車を買うのに。)

現在の事実, 私はたくさんのお金がないので, 車を買うことができない。

助動詞の形

現在の事実と反して, 「〜だろうに」, 「〜できるだろうに」などと表すときは, 助動詞の過去形を使う。

If she lived in this town, I could see her soon. (もし彼女がこの町に住んでいれば, 私は彼女にすぐ会うことができるのに。)

仮定法過去文の文で, canの過去形のcouldを用いている。

次の日本語に合う英文になるように, ( )内から適当な語句を選び, 記号で答えなさい。

- (1) もし私が日本に住んでいるなら, その寺を訪れるのに。 [ If I (ア lived イ live) in Japan, I would visit the temple. ]
□(2) もし私がひまなら, 買い物に行くのに。 [ If I (ア was イ were) free, I would go shopping. ]
□(3) もし今晴れていれば, テニスができるのに。 [ If it (ア is イ were) sunny now, I could play tennis. ]
□(4) もしあなたがこの本が好きなら, あなたにあげるのに。 [ If you (ア liked イ like) this book, I would give it to you. ]
□(5) もし私が車を持っていたら, そこへ行けるのに。 [ If I (ア have イ had) a car, I could go there. ]
□(6) もし彼がここにいたら, 私を助けてくれるでしょう。 [ If he (ア is イ were) here, he would help me. ]

2 次の日本語に合うように, \_\_\_\_\_に適当な語を書きなさい。

- (1) もし私が辞書を持っていたら, この本を読むことができるのに。 [ I had a dictionary, I \_\_\_\_\_ read this book. ]
□(2) もしユカがここにいたら, 彼女はそんなことを言わないでしょう。 [ \_\_\_\_\_ Yuka \_\_\_\_\_ here, she would not say that. ]
□(3) もしあなたが東京に住んでいるなら, 何をしますか。 [ If you \_\_\_\_\_ in Tokyo, what \_\_\_\_\_ you do? ]
□(4) もし私が鳥なら, 空を飛ぶことができるのに。 [ \_\_\_\_\_ I \_\_\_\_\_ a bird, I \_\_\_\_\_ fly in the sky. ]
□(5) もし彼が忙しくないなら, 彼を訪問するのには \_\_\_\_\_ he \_\_\_\_\_ busy, I would visit him. ]
□(6) もしあなたが準備できていたら, 私たちはすぐに出発できるのに。 [ If you \_\_\_\_\_ ready, we \_\_\_\_\_ leave soon. ]

3 次の英語を日本語にしないさい。

- (1) If I were you, I would not do such a thing. [ ]
□(2) If Ken had a lot of money, he could buy a new car. [ ]
□(3) If you were Ayaka, what would you do next? [ ]
□(4) If it were warm today, we could eat lunch outside. [ ]

○ (I wish+主語+助動詞の過去形) 「〜ならいいのに」と, 現在の事実と違う願望を表す。話し手の残念な気持ちが含まれる。

現実 I'm sorry I'm not free. (ひまでなくて残念です。)

願望 I wish I were free. (ひまならなあ。)

現実 I'm sorry I can't speak English. (英語が話せてなくて残念です。)

願望 I wish I could speak English. (英語が話せたらなあ。)

○ 現在の事実と反することを願っているのに, I wishのあとにbe動詞はwere, 動詞や助動詞は過去形になる。

4 次の英文を仮定法文に書きかえるとき, \_\_\_\_\_に適当な語を書きなさい。

- (1) I don't know her telephone number, so I can't call her. [ If I \_\_\_\_\_ her telephone number, I \_\_\_\_\_ call her. ]
□(2) She doesn't study English hard, so she can't speak English well. [ If she \_\_\_\_\_ English hard, she \_\_\_\_\_ speak English well. ]
□(3) I am not there, so I won't help Kumi. [ If I \_\_\_\_\_ there, I \_\_\_\_\_ help Kumi. ]
□(4) I can't go to the concert because I don't have a ticket. [ If I \_\_\_\_\_ a ticket, I \_\_\_\_\_ go to the concert. ]

5 次の日本語に合う英文になるように, ( )内から適当な語句を選び, 記号で答えなさい。

- (1) 私が彼の名前を知っていればなあ。 [ I wish I (ア know イ knew) his name. ]
□(2) あなたがここにいればなあ。 [ I wish you (ア are イ were) here. ]
□(3) 中国語を話すことができればなあ。 [ I wish I (ア could イ can) speak Chinese. ]
□(4) 彼女がじょうずにサッカーをすることができればなあ。 [ I wish she could (ア play イ played) soccer well. ]

6 次の日本語に合うように, ( )内の語を並べかえ, 正しい英文にしなさい。

- (1) 彼女がサッカー選手ならなあ。 ( wish / I / were / she ) a soccer player. \_\_\_\_\_ a soccer player. ]
□(2) ギターをじょうずにひくことができればなあ。 I wish ( play / well / could / I / guitar / the ). I wish \_\_\_\_\_ ]
□(3) あなたがパーティーに行くことができればなあ。 I wish ( go / party / you / could / the / to ). I wish \_\_\_\_\_ ]
□(4) もっと自由な時間があればなあ。 ( more / wish / had / I / free / I ) time. \_\_\_\_\_ time. ]

7 次の英語を日本語にしないさい。

- (1) I wish I had a new bike. [ ]
□(2) I wish you could stay here. [ ]
□(3) I wish he helped me with my homework. [ ]

英語のしくみ PROGRAM 3

権かめよう

主語+動詞+目的語+補語 (名詞/形容詞) の文

「〜(目的語) is/are」(情動)の関係が成り立つ。(「〜」=「〜」)

「〜」は文の目的語なので, 代名詞のときは目的格を用いる。

○ (call+〜+...) 「〜(人など)を…(名前)と呼ぶ」 We call the dog Pochi. (私たちはそのイヌをポチと呼びます。)

The dog is Pochi. の関係が成り立つ。

○ (name+〜+...) 「〜(人など)を…(名前)と名づける」 We named the cat Tama. (私たちはそのネコをタマと名づけた。)

The cat is Tama. の関係が成り立つ。

○ (make+〜+...) 「〜(人など)を…(形容詞)の状態にする」 Mary's letters always make me happy. (メアリーの手紙はいつも私を幸せにします。)

I am happy. の関係が成り立つ。(参考)

他の語とイコールの関係が成り立つ文の成分を補語という。

He is a teacher. は, he = a teacher の関係が成り立つので, (a) teacherは主語に対する補語である。

We call the dog Pochi. の場合, Pochiは文の目的語のdogに対する補語である。

1 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の英語を日本語にしないさい。 □(1) Her story made us sad. [ ] □(2) I named my daughter Beth. [ ] □(3) She was called Meg when she was a child. [ ] □(4) What do you call your dog? [ ]

(2) 次の日本語に合うように, \_\_\_\_\_に適当な語を書きなさい。

- (1) 音楽を聞くことは私を幸せにします。 Listening to music \_\_\_\_\_ happy. ] □(2) 彼は息子を一郎と名づけました。 He \_\_\_\_\_ his \_\_\_\_\_ Ichiro. ] □(3) この食べ物英語で何と呼びますか。 What \_\_\_\_\_ you \_\_\_\_\_ this food in English? ] □(4) そのゾウは彼らによってジョンと名づけられました。 The elephant \_\_\_\_\_ John by them. ] □(5) なぜその魚は「ネコまたぎ」と呼ばれているのですか。 Why \_\_\_\_\_ the fish \_\_\_\_\_ Neko-matagi? ]

(3) 次の日本語に合うように, ( )内の語句を並べかえ, 正しい英文にしなさい。

- (1) その知らせは多くの人を悲しませました。 ( made / many / news / people / sad / the / . ) \_\_\_\_\_ ] □(2) 私たちはその公園をきれいにしておくべきです。 ( clean / keep / park / should / the / we / . ) \_\_\_\_\_ ] □(3) あなたはあなたのネコを何と呼んでいますか。 ( call / cat / do / you / your / what / ? ) \_\_\_\_\_ ]

(4) 次の日本語を英語にしないさい。

- (1) 窓を開けたままにしてください。 [ ] □(2) 彼女の歌は人々を幸せにします。 [ ]

2 (主語+動詞+目的語+補語)の文

「目的語」と「動詞の原形」は「〜が…する」という「主語」と「動詞」の関係になる。

文の目的語が変わっても, 「動詞の原形」は形が変わらない。

○ (let+人など+動詞の原形) 「〜が…するのを許す, 〜に…させてやる」

・許可するときの表現, ・letは不規則変化の動詞で, 過去形もlets. My father lets me use his computer. (父は私に彼のコンピュータを使わせてくれます。)

My father let me use his computer yesterday. (昨日, 父は私に彼のコンピュータを使わせてくれました。)

○ (make+人など+動詞の原形) 「〜に…させる」

・強制するときの表現, My father made me clean my room. (父は私に部屋の掃除をさせました。)

My sister made us laugh. (妹は私たちを笑わせました。)

○ (help+人など+動詞の原形) 「〜が…するを手伝う」 I helped my father wash his car. (私が父の車を洗うを手伝いました。)

I sometimes help my sister do her homework. (私はときどき, 妹が宿題をするを手伝います。)

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の日本語に合うように, \_\_\_\_\_に適当な語を書きなさい。 □(1) ケンは私たちが体育館を掃除するのを手伝ってくれました。 Ken \_\_\_\_\_ the gym. ] □(2) 姉は私にそのかばんを使わせてくれました。 My sister \_\_\_\_\_ the bag. ] □(3) 彼らは私の父を長時間働かせます。 They \_\_\_\_\_ my father \_\_\_\_\_ for a long time. ] □(4) 彼はいつも私を笑わせます。 He always \_\_\_\_\_ ]

(2) 次の英語を日本語にしないさい。

- (1) Let me know your phone number. [ ] □(2) We helped our mother wash the dishes. [ ] □(3) My father made me study for a long time. [ ] □(4) I will let you know the new information. [ ] □(5) Let me know how to get to the station. [ ]

(3) 次の日本語に合うように, ( )内の語句を並べかえ, 正しい英文にしなさい。

- (1) あなたがその本を運ぶのを手伝いましょうか。 ( books / can / carry / help / I / the / you / ? ) \_\_\_\_\_ ] □(2) 母は私に英語で話させました。 ( English / in / made / me / mother / my / speak / . ) \_\_\_\_\_ ] □(3) 私にあなたのかさを使わせてください。 ( umbrella / let / me / please / use / your / . ) \_\_\_\_\_ ] □(4) 私は彼らに庭を掃除させるつもりです。 ( clean / yard / I / make / them / the / will / . ) \_\_\_\_\_ ]

(4) 次の日本語を英語にしないさい。

- (1) 父は私に買い物に行かせてくれませんでした。 [ ] □(2) この映画は私をいつも泣かせます。 [ ]

